

各関係機関長 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
病害虫防除所長

令和4年度技術情報について

令和4年度技術情報第1号を発表したので送付します。

**令和4年度技術情報第1号**

令和4年5月10日  
徳 島 県

4月第4半旬から5月第1半旬にかけて上板町に設置した予察灯の調査において、果樹カメムシ類の誘殺数が平年に比べて多く誘殺されています。

栽培園地においては、今後の病害虫防除所が発表する発生予察情報等を随時確認するとともに、適切な防除指導をお願いいたします。

作物名：果樹全般（特に、ウメ、モモ、ナシ）

病害虫名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）

発生地域：県北部域

1 発生状況

(1) 4月第4半旬から5月第1半旬における上板町に設置した予察灯調査で、チャバネアオカメムシが275頭と平年(12頭)の22.9倍、ツヤアオカメムシが194頭と平年(48頭)の4倍誘殺された(表1)。過去20年間で、この時期に100頭以上誘殺されたのは2回あり、そのうち平成16年と発生推移が類似しているため、今後、発生の増加が懸念される(図1)。

勝浦町では、チャバネアオカメムシが41頭、ツヤアオカメムシが8頭と、平年並の発生であるが、前年よりやや多く、今後の発生増加が懸念される。

(2) 今春の果樹カメムシ類の初誘殺は、上板町では平年(4月22日)より9日早い4月13日に、勝浦町では平年(4月22日)より8日早い4月14日にそれぞれ確認した。

(3) 5月上旬、上板町のビワ圃場で果樹カメムシ類の寄生を確認している。

2 防除対策等

(1) 果樹園周辺の山林や雑木林から成虫が飛来してくるので、園内を巡回し、飛来を確認したら早急に防除を行う。

(2) 夜行性の虫なので、薬剤の散布は夕方か早朝に実施すると効果が高い。

(3) 移動性が高いので、広域一斉防除により防除効果の向上に努める。

(4) 飛来数が多い場合は、継続的な防除が必要であるが、薬剤の影響でハダニ類が増加する場合がありますので注意する。

(5) 防除については、徳島県植物防疫指針(URL:<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/tokushima>)を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、必ず農薬ラベル記載事項を遵守する。

(6) 風の強い日には散布を控え、風向きに注意し、圃場周辺への薬剤飛散防止に努める。

表1 上板町での予察灯による果樹カメムシ類の誘殺数

月	半旬	チャバネアオカメムシ			ツヤアオカメムシ		
		2022年	2021年	平年	2022年	2021年	平年
4	1	0	0	0	0	1	0
	2	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	2	2	0
	4	11	0	0	7	0	1
	5	35	3	3	69	2	6
	6	207	0	2	89	1	11
5	1	22	2	7	29	9	30
	2		16	6		8	19

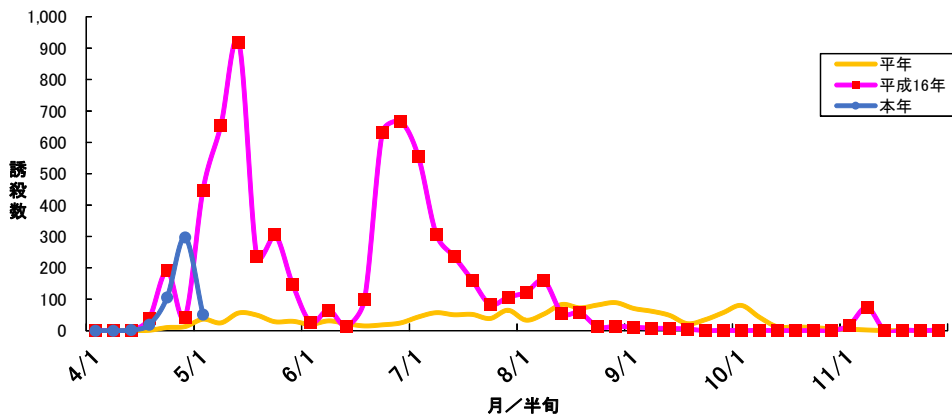


図1 上板町での予察灯による果樹カメムシ類の平成16年との発生推移の比較



図2 チャバネアオカメムシ

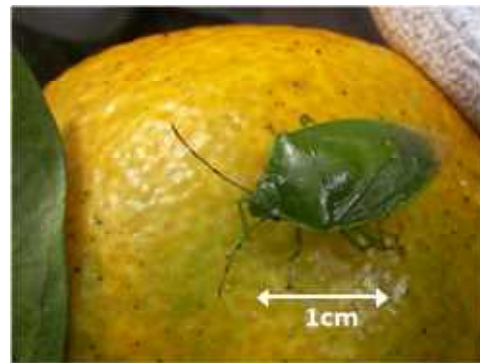


図3 ツヤアオカメムシ

○徳島県内の病害虫の発生予察情報，発生状況，防除法等をお知らせしています。

徳島県立農林水産総合技術支援センター病害虫防除所

所在地 〒779-3233 徳島県名西郡石井町石井字石井1660

電話 088-674-1954 ファクシミリ 088-674-3114

URL : <https://www.pref.tokushima.lg.jp/tafftsc/t-boujosh/>